

# 平成 27 年度 山形県行政支出点検・行政改革推進委員会 第 2 回 会 議 会 議 概 要

◇ 日 時 平成 27 年 9 月 9 日（月） 13：30～16：00

◇ 会 場 県庁 1001 会議室

◇ 出席委員

委員長 高橋和

委 員 井上肇、岡田新一、高橋恵美、玉谷貴子、和田明子

（欠席：佐藤亜希子、原田儀一郎）

〈五十音順、敬称略〉

## ■委員の主な意見等

### 3 議事（1）「主要な施策の評価・検証」について

#### テーマ5 エネルギーを安定供給し、持続的な発展を可能にする環境資産の 保全・創造・活用

〈発言順〉

#### 施策1：再生可能エネルギー等の導入促進と省エネルギーの推進

（和田委員）

- 今回の資料だけでは、主要な施策の評価・検証はできない。各事業の中身、費用、県の役割分担について、明らかにしてもらったうえで、目標の妥当性、成果、内容の妥当性という視点から評価できるよう、資料について工夫していただきたい。

（高橋恵美委員）

- 省エネルギーの推進について、参加報告件数を目標にするのではなく、省エネルギーにどのくらい寄与しているのかを目標にすべきではないか。

（岡田委員）

- 再生可能エネルギー導入促進については、地産地消も含めてさらに利用を進めるべき。その際、雇用創出に繋がるよう取り組んで欲しい。

（井上委員）

- 「山形県新電力（仮称）」については、民間の活力を活かすために、県民からも幅広く出資を募るべきではないか。
- 木質バイオマス発電を推進することはよいが、売電だけを目的とするのではなく、県内の木質資源の有効活用という視点を見失わないで欲しい。
- 太陽光パネルが無秩序に設置されている印象を受ける。設置の際は景観に配慮するよう行政が指導すべきではないか。

（玉谷委員）

- 「山形県新電力（仮称）」については、県内でどのくらいの雇用が生み出されるのか、また、県内にどのような波及効果があるのか、新会社のビジネスモデルがよくわからないところがある。

## 施策2：環境資産の保全・創造・活用による地域活力の向上

### (井上委員)

- ごみの1人1日当たりの排出量を減らす目標に対し、実績では増えている。県の事業の成果をどう捉えればよいのか。
- 不法投棄の箇所数は18箇所とのことだが、感覚的には他にももっとあるのではないか。

### (和田委員)

- ごみ処理は市町村の役割との認識。県でごみの排出量削減の取組みをするのであれば、市町村と県の役割分担を明確にすべき。

### (玉谷委員)

- ごみの1人1日当たりの排出量の数値目標は、県の施策のみによる目標値なのか、市町村なども含めた県民全体の目標値なのか不明確。目標値をきちんと県民に公表することで、より効果的に取り組めるのではないか。

### (高橋恵美委員)

- 放射線やPM2.5などのモニタリング結果をインターネットや携帯電話を通じて情報提供しているが、きちんと県民に閲覧されているのか。情報提供だけでなく、閲覧数の検証なども必要。

## ま と め

### (高橋和委員長)

- 設定した目標と施策の関係がよくわからないものが見受けられる。設定された目標に問題があると、そこから先の評価が難しくなってしまうので、設定された目標について、しっかりと議論しておく必要があるのではないか。
- 施策によっては、市町村や民間などとの役割分担を明確にしていく必要があるのではないか。
- 「山形県新電力（仮称）」はビジネスモデルが見えない部分もあるので、新会社の目指す方向性について、きちんと県民に知らしめていく必要があるのではないか。

## テーマ6 地域活力を生み出し災害に強い県土基盤の形成

### 施策1：広域交通ネットワークの整備促進

#### (岡田委員)

- 本県の場合、鉄道と空港が競合することは致し方ないが、双方が共存できるような利用促進策を県で積極的に進めていくべき。

#### (玉谷委員)

- 奥羽・羽越新幹線について、パンフレットを作成し配布するだけでなく、今後どのようにしていつまで実現するのか、明確にしておく必要があるのではないか。

(井上委員)

- 空港の予算を増やせば、利用者を増やすことができるのかもしれない。予算を削るだけでなく、必要などころにお金を使うことで、県民や他県の方にも利用されるような効果が期待できるかもしれない。
- 山形新幹線はよく止まるので、是非フル規格新幹線を実現してほしい。

(高橋和委員長)

- 空港利用の取組みにおいては、利用者数の増を目標として設定しているが、利用者が増えた結果どういう波及効果があったのかまで踏み込む必要がある。資料でも、利用者が増えることで、県の産業や将来にどういう効果があったのかをわかるようにしておく必要がある。

**施策2：県民の生活を支える社会資本の整備・強化**

**施策3：活力ある都市と魅力ある中山間地域の形成**

(玉谷委員)

- 除雪ボランティアは雪の多い地域では重要な取組み。広域除雪ボランティア育成事業による、除雪ボランティア活動の件数やボランティア参加者の状況など、きちんとPRして欲しい。

**ま と め**

(高橋和委員長)

- 新幹線、空港の利用促進の取組みについては、県民への波及効果も考えながら、優先順位をつけ効率的に実施すべきではないか。
- 新幹線のフル規格化については、昭和48年の従来の計画を単純に引き継ぐだけではなく、今の山形にとってどういう交通網が必要か、改めて考えていく必要があるのではないか。
- 委員が発言し、事務局が答えるという旧来型の審議会スタイルでは、実質的な議論になりにくい。次回に向けて、委員同士や事務局も含め、実質的な意見交換ができる会議の進め方について検討願いたい。

(総務部次長)

- 主要な施策の評価・検証については、委員の皆様の御意見を踏まえ、その手法について他県の例なども勉強し、わかりやすく、簡素で評価・検証しやすい資料となるよう見直すとともに、委員会の持ち方も検討していく。
- 本日いただいた御意見については、今後の事業内容や進め方で見直し・改善を図るとともに、来年度予算編成においても、可能な限り反映させていく。

以上